

平成 27 年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実 施 報 告 書

HT27188 海外の学術調査を通じて、みんなに知ってもらいたいこと



開 催 日： 平成 27 年 7 月 24 日 (金)

実 施 機 関： 愛知学院大学

(実施場所) (愛知学院大学歯学部附属病院)

実施代表者： 夏目 長門

(所属・職名) (歯学部・教授)

受 講 生： 中学生 9 名・高校生 10 名 計 19 名

関 連 URL:

【実施内容】

■ 受講生にわかりやすく研究成果を伝えるために、また受講生に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意、工夫した点

- ・講義の説明では実際に学術調査で撮影した写真を多用したパワーポイントのスライドを作成し、視覚的に興味を持ってもらうよう工夫した。
- ・難しい専門用語をひとつひとつ詳しく説明し、理解を容易にした。
- ・実習では、小グループに受講生を分け教員や大学院生を複数名配置し、質問に答えながら受講生全員が体験できるよう配慮した。
- ・過去の「ひらめきときめきサイエンス」参加者に参加してもらい、参加後になぜモンゴルへ行ったか、モンゴルはどのようなところなど実際に話してもらい、具体的なイメージを引き出した。
- ・クッキータイムの際に、受講生に今回参加した理由を聞いたり、質問をしてもらったりして、受講生の質問に答えやすいような雰囲気づくりをした。

■ 当日のスケジュール

- 12:30～受付
- 13:00～【開講式】挨拶、オリエンテーション、科研費の説明
- 13:20～【講義】海外での医療援助と学術調査
- 14:00～【休憩】
- 14:10～【講義】病気について知ろう(口唇口蓋裂の治療と研究)
- 14:50～【クッキータイム】
- 14:20～【実習】病院や研究室の見学
- 15:55～【実習】手術器具にさわってみよう
- 16:30～【修了式】感想、アンケート記入、未来博士号授与

■実施の様子



講義「海外での医療援助と学術調査」



講義「病気について知ろう」



クッキータイム



病院見学



縫合してみよう



手術器具にさわってみよう



採血をしてみよう



未来博士号授与

■事務局との協力体制

- ・研究支援課と協力し、近隣の公立中学校・高校及び私立中高一貫校を訪問し、本事業についてPRをした。
- ・入試広報課と協力し、プレスリリースや大学ホームページへの掲載などの広報を行った。

■広報活動

- ・県内の中学校、高等学校 320 件に案内チラシを送付した。また、近隣の公立中学 5 校・公立高等学校 3 校及び私立中高一貫校 15 校に研究支援課担当者が訪問し、プログラムの内容を紹介、周知を依頼した。
- ・プレスリリース及び大学ホームページに掲載を行った。
- ・近隣のタウン誌に掲載を依頼し、「千種ホームニュース」に掲載いただいた。
- ・各新聞社に掲載を依頼し、読売新聞、朝日新聞、中日新聞に掲載いただいた。

■安全配慮

- ・実習の安全を確保するため、受講生 4 人に 1 人の割合で医療者を配置した。
- ・参加した受講生及び実施協力者は傷害保険に加入した。

■今後の発展性、課題

- ・受講生からは「とても興味深い内容だった」「口唇口蓋裂の治療と研究に興味を持った」「国際的な活動をしてみたい」「モンゴルやベトナムに行きたい」という感想が寄せられ、研究や学術調査に興味を持ってもらえた。また、保護者の方からも、「将来を見つめるよい機会になった」「息子の心に何か芽生えるものがあった」と評価を頂いた。
- ・40 名の募集であったが、応募者は 20 名であった。近隣校の登校日と重なったようであるので、日程設定の調整が必要である。

【実施分担者】

古川博雄(心身科学部・教授)

新美照幸(歯学部・准教授)

南克浩(歯学部・講師)

井村英人(歯学部・講師)

鈴木聡(歯学部・非常勤助教)

大野磨弥(歯学部・非常勤助教)

【実施協力者】 7 名

【事務担当者】

日比茂久(研究支援課・課長)